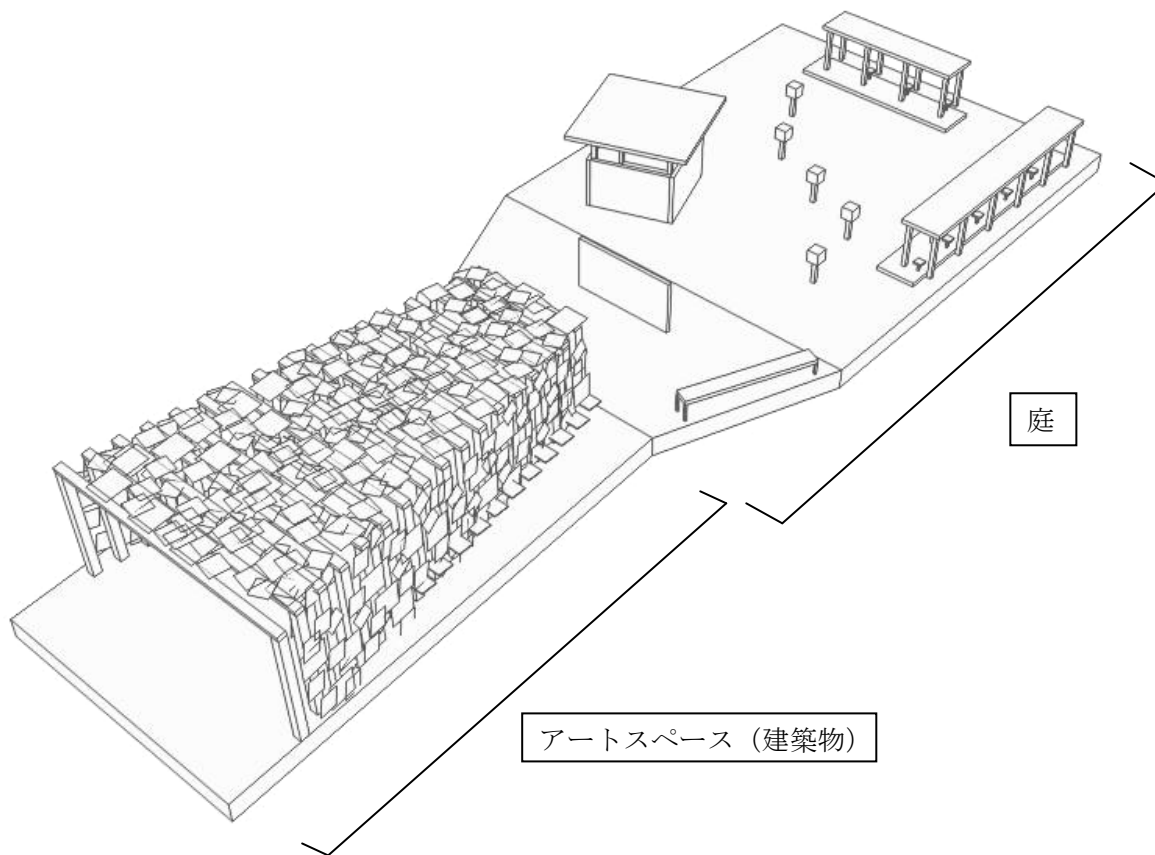


イメージ図



■コンセプト

・機能的コンセプト

飲んで騒いでの学園祭の中で、周りとは180度違った空気を作る。「落ち着いた空気」を通り越して、不思議な経験を得られるような空間にしたい。

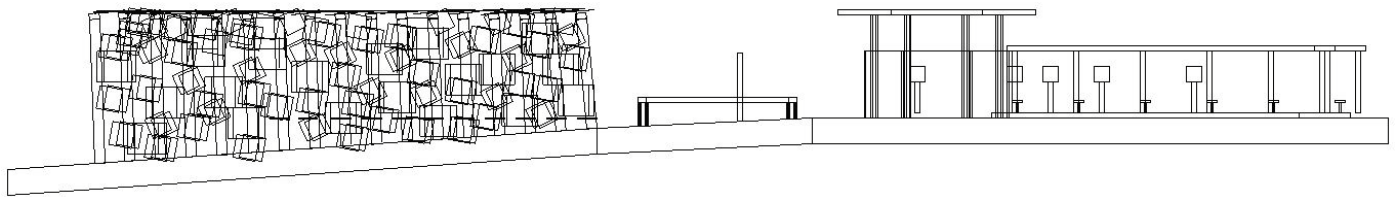
敷地が広いので、傾斜部をアートスペース（建築物）、水平部を庭に分け、機能を分担させた。アートスペースでは雨風をしのげる他、写真や絵画を展示することができる。机や椅子を置いても良い。庭は飲食および休憩所。

歌える人がいるならライブ会場でもある。

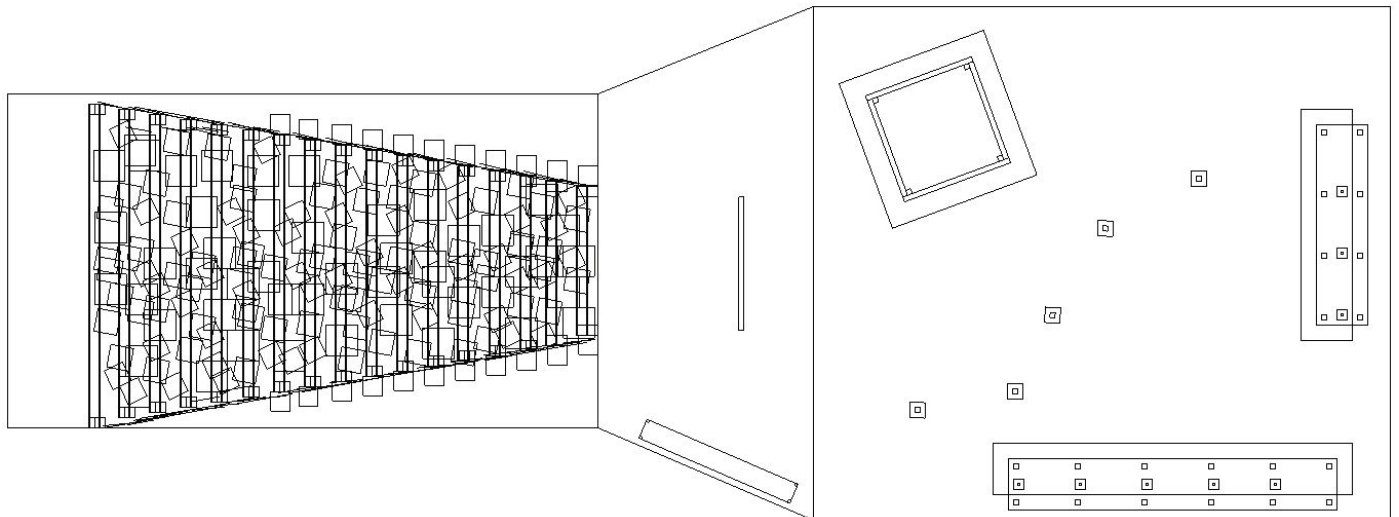
・デザインコンセプト

キーワードは「紅葉」。せっかく紅葉が色づきはじめる時期で外国人も多いのだから、ここは日本の秋を見せたい。庭とアートスペースの外側には秋の落ち葉を敷き詰める。(調達できなければ砂利)。アートスペースの壁面に正方形の薄い板をランダムに打ちつけることで、落ち葉が貼りついた感じを表現する。

側面図



上面図



■アピールポイント

① 木の葉に癒される

色彩的に美しいだけでなく、コンクリートで歩き疲れた足に柔らかい葉は嬉しいだろう。また**落ち葉に照明を埋め込む**と、葉のランダムな重なりが光をにじませ幻想的な雰囲気を作れるのではないだろうか。

② 座布団に座れる。

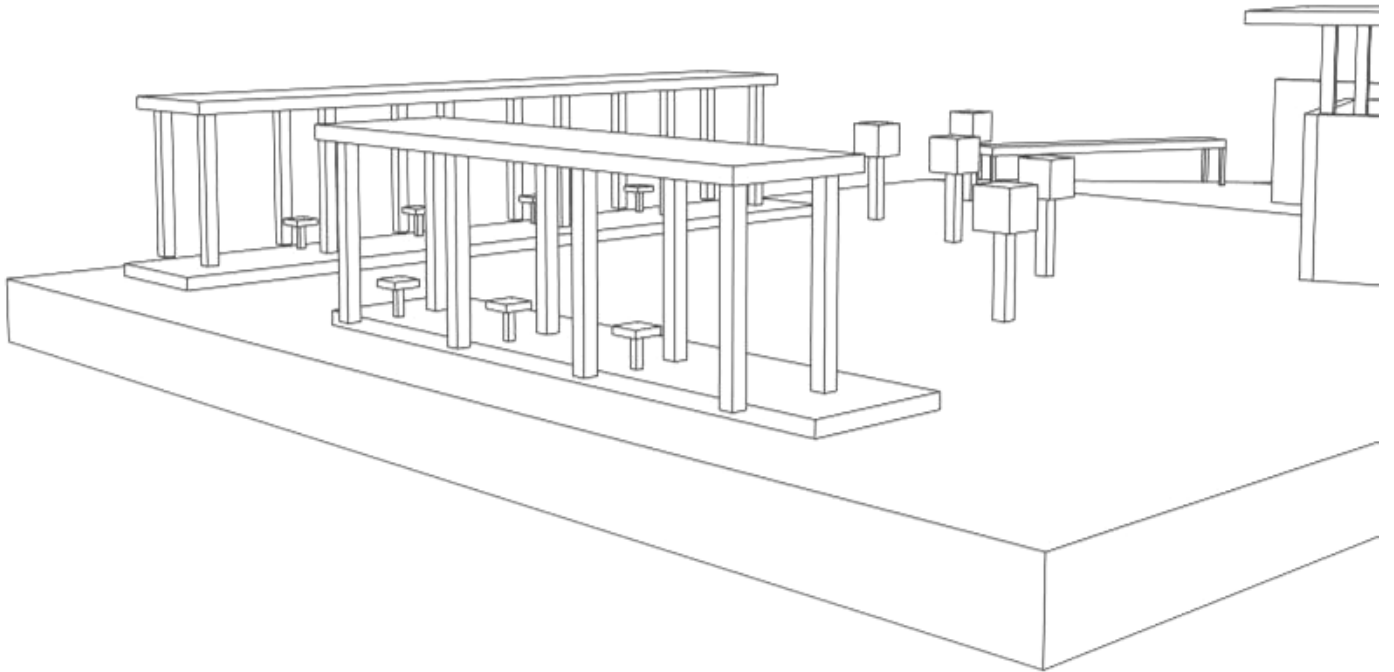
庭にて厚めに敷いた**木の上であぐらをかいてくつろげる**。夜はサイドテーブルにつまみでも置いて、チビチビと。多人数を招待することに焦点を合わせるのではなく、座った人が**確実に安らげる空間を作る**。学園祭の中でもひとときわ贅沢な場所になるだろう。(昼は小さな子供も来るだろうから、酒は夜解禁に。)

③ インパクトがある

アートスペースには、**ランダムに打ちつけた板に合わせ大量の写真や絵をアーティスティックに貼る**ことができる。迫力ある大開口に通行人が吸い込まれる。

■使用材料・工法

2~4mの2×4木材、正方形のサイズ多様なベニヤ板、和紙などを考えている。アートスペースは土台の上に木枠を並べ、その上からベニヤ板を打ちつける。図を見てもものすごく手間がかかりそうだが、ワンパターンなので人手さえあれば施工可能だと思われる。



■その他

- ・上の図において庭に立つ立方体は照明だが、昼は下げておいて子供が遊べる遊具などを置いたり、スクリーンに何か上映するのはどうだろうか。
- ・アートスペース内部の地面は砂利か木の板を考えている。
また外壁には一人がけの座部がとりつけられている。
- ・庭入口にある板は、開口部から簡単に庭が見えないように置いている。
- ・庭の四角い建物は飲み物販売所。
- ・図面は荒いが、測定会の結果を参照しているので大体のスケールは合っている。

最後に

最後に小言を。この案をつくるにあたって一番考えたことは、基本的なスタンスとして、客のニーズや祭りの中の位置づけを重視すべきなのか、自己満足でも良いからあらゆる意味で挑戦的な建築物をつくるべきなのかということだ。考えた結果どちらも大切だと思った。よってこの案では機能と外観とをなるべく両立しようとした。アートスペースは自分にとっては挑戦で、まだまだ施工方法の具体性が見えていないが、出来上がれば面白くなると思う。全ての案を検討するにあたって、現実味が無いからとすぐ諦めるのではなく、まず挑戦して無理だと思えば修正するというスタンスが前向きではないだろうか。